

まつうら 市議会だより

第68号

令和6年2月1日

編集・発行
市議会だより編集委員会
電話 (0956) 72-1111

令和5年度一般会計補正予算12億7028万8千円可決

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業費やプレミアム付き商品券事業費などが計上されました。

**12月
定例会**



調川地域まちづくり運営協議会
(調創会) 鬼火焚き(1月7日)



今福町梶谷城址から望む 初日の出



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和5年 12月定例会

令和5年12月定例会を、12月8日（金）から12月20日（水）までの13日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市国民健康保険税条例の一部改正についてなど条例11件、令和5年度各会計補正予算24件、その他の議案2件、同意案7件の合計44議案が上程され、条例1件を否決し、条例10件、予算24件、その他の議案2件を原案のとおり可決し、同意案7件を原案のとおり同意いたしました。

また、先の定例会で閉会中の継続審査としていた、令和4年度の一般会計決算認定案件については不認定とし、各特別会計決算認定案件11件については認定いたしました。

不認定の理由は11ページに掲載しています。

（※議案等の審議結果については、12ページから掲載）

会期日程

12月
8日（金）

本会議

▽会期の決定
▽議長報告

▽市長の市政概況報告

▽総務委員会の行政調査報告
▽産業経済委員会の行政調査報告

▽文教生委員会の継続調査報告
▽西九州自動車道整備促進特別委員会の中間報告

▽決算審査特別委員会の審査報告・採決

▽市長提出の諸事項報告

▽議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託
▽陳情の受理報告

9日（土）・10日（日）
11日（月）・13日（水）
本会議

14日（木）・15日（金）
16日（土）・17日（日）
委員会
委員会
委員会

18日（月）
19日（火）
20日（水）
休会
休会
本会議

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決
▽議案の上程・説明・審議

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質するものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内（答弁と関連質問を含む）という取り決めになっています。

今定例会では、12月11日から13日までの3日間で12人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館



↑
会議録はこちらからもご覧になれます。（9月定例会の会議録は12月定例会前に公開）

議会は

インターネット中継でも

ご覧いただけます。

次の定例市議会は

3月です。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。

また、編集が完了しましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>



↑
録画映像はこちらからもご覧いただけます。

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

Tel (0956) 72-1111

一般質問



金井田
議員

○木育の推進について

質 市長が令和2年2月22日2時22分という、インパクトのあるぞろ目の日にウッドスタート宣言をされ、木育の推進を提唱されました。木育とは子どもから大人までを対象に、木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めて木材のよさや利用の意義を学ぶための教育活動とされていますが、現状子どもが中心となっているように見受けられます。ウッドスタート宣言をしたことと、本市の木育活動について、考えをお尋ねします。

市長 ウッドスタート宣言がなぜ子どもからなのかというと、ブックスタートという取り組みがあります。子どもが最初に触れる適切な本をプレゼントするという流れと同じように、ウッドスタートは、子どもが最初に触れるおもちゃは木のおもちゃがいいですよということから派生して、子どもの頃から木に触れる経験を積むことで子どもたちが木に親しみ、大人になっていく、そのスタートとして取り組みました。木育を推進し、確実に事業を進めていく上では、木育の意義を子どもから大人ま

で市民の皆さまへしっかりと伝えし、理解を得ることが不可欠です。で、年齢に関係なく、より多くの市民にご参加いただける取り組みを進めます。

○元寇750年を迎えるにあたっての事業計画について

質 6月の定例会において宮本議員より元寇750年祭の準備について質問があり、元寇の折、活躍した鎌倉武士に関連した地域とのつながりを深め、ネットワーキングづくりをより一層構築して連携を深めてまいりたいという市長の答弁がありました。が、半年経過した現在の進捗状況についてお尋ねいたします。

市長 現在元寇ゆかりのネットワーク事業をすすめているところです。4月下旬から5月初旬にかけ、元軍と戦った鎌倉武士にゆかりのある九州各地の28自治体を私が直接訪問し趣旨を伝えました。7月20日には鎌倉市長を訪問し、参加の同意をいただきました。また、9月29日には本市を含め賛同いただいた24自治体のうち22自治体で、ウェブによるキットオフミーティングを開催し、このネットワークの規約の制定、役員の選出、実施事業の検討を行ったところ。このような活動を活性化させ、水中遺跡保護に対する世論の盛り上がりにも結びつけたいと考えています。

一般質問



武部
議員

○梶谷城址の保存活用について

質 梶谷城址の樹木の伐採をしていただき素晴らしい景観となりました。今後は本丸、大手門側の石垣の修復整備、登山道路の整備に向けて、文化財保存活用地域計画の中で検討をお願いしたいと思いますが、見解をお願いします。

文化財課長 文化財保存活用地域計画中のアクションプランとして、梶谷城については、施設整備を行うよりも活用策を検討し、ソフト面で充実させていきたいと考えています。修復となると、県指定の史跡のため、状況によっては発掘調査や形状変更の手続が必要となることから、注意喚起のための応急策を講じているところです。

○人口減少克服に向けた対策について

質 人口減少が進み、11月末で2万1039人となりました。外国人の方を含むとありますが、外国人の人数は何人ですか。また、市としては人口減少対策をどのように考えていますか。

人手不足で外国人の看護・介護職

員の方は今後増加すると思います。地域住民との交流機会が限られ、寂しい思いをされていると思います。そして松浦の文化、しきたり、人との接し方、言葉の教育が急務だと思います。市としての対応が必要だと思っていますが、見解をお願いします。

政策企画課長 外国人の人口については令和5年11月末現在で308人となっています。市内には外国人を雇用している企業が多く、雇用者数も年々増加傾向にあります。外国人の方々には地域住民との交流機会も少なく、勤務先以外で生活関係の相談をする場所が多くないのが現状と伺っています。

そういった現状を踏まえ、今年度政策企画課では、長崎県国際交流会と連携し、地域住民が外国人とコミュニケーションを図りながら交流し、支援する市民ボランティアを養成するため、日本語ボランティア養成講座を開催いたしました。10月15日から12月10日まで、計5回の講座を開催し、延べ36人の参加があったところです。

イベントや地域で交流の場を持つことでお互いが顔見知りになり、外国人の方々も挨拶や相談ができるようになってくると考えています。日本人、外国人の相互理解がより深まるよう、引き続き関係団体と連携協力して対応していきたいと考えています。

一般質問



鈴木 立
議員

○公共施設の老朽化頻度及びリスト
将来への処置対策計画について

質 市が管理する公共施設が築年数の経過に伴い老朽化が急速に進んでいると考えられるが、既存の施設を新設および再生するためには、予想外の多額の金額を必要とすると思われる。老朽化頻度リストを早急に作成し多額の借金を後世の子どもたちに背負わせる事のないようにすべきと強く考えるが、この件についてどう対策を講じるつもりか伺う。学校、給食センター、橋梁、下水道、消防施設等について順次答弁を願う。

市長 個別の施設については担当課長が説明しましたが、公共施設、またインフラ施設について、必要性を判断し、優先順位を定めて計画的に取り組んでいくことが重要だと考えています。老朽化した施設のうち建て替えが必要な施設について、市民の利便性向上とともに、維持管理費の縮減にもつながるよう施設の集約化を図りたいと考えています。また、他の大型事業との兼ね合いや、各年度における財政負担の平準化についても考慮しながら整備を進めていきたいと考えています。

○郷土愛を育む文化財全方位振興について

質 松浦市にはいまだ歴史資料館は建設されていない。トロ箱に入ったこれまでに発掘された多くの遺物の上に、新聞紙をかぶせホコリだらけで、40年以上図書館の二階奥に放置されたままの状態を目にしてきた。まったくお粗末の限りである。鷹島神崎遺跡・梶谷城跡も重要とは思いますが、他地域にも重要な遺物はある。一日も早く歴史資料館を建設し、先祖の方が生活を営んだ農機具、漁具等を今の子どもたちに直接目を通して触れる事により、郷土愛が自然に芽生える最重要教育の場となる。片寄り文化行政は全くよくない。これらのことについてどのように考えているか伺う。

市長 歴史民俗資料館については、不十分ではありますが、調川の民俗資料館や福島市の歴史民俗資料館、鷹島の埋蔵文化財センター等で展示、保管をしている状況です。なかなか建設のめどが立っていない状況については、将来的にも関係者の皆さま方のご意見を踏まえやらなければならぬと思っています。教育委員会では、松浦市文化財保存活用地域計画を策定しており、このような計画に基づきながら、適切に今後も行政運営をやっていくことが必要だと考えています。

一般質問



川下
議員

○豪雨災害から市民を守るための治水、減災対策について

質 今年九月の豪雨の影響で水路の一部が決壊し大量の水が流れ出る被害が出た。当該箇所は以前より水路強化の案が出ていたが地権者の許可が得られず未実施だった経緯がある。

近年の豪雨を見れば防災の観点からある程度強制力を持った整備は必要と考える。市長には先頭に立って法整備などを訴えていただきたいがどのようにお考えか。

市長 遵守すべき法律がない法定外公共物、青線に係る維持管理などの問題については、松浦市だけではなく、県内の自治体においても同じような問題を抱えているのではないかなと思います。

まずは今後立ち上げられる流域治水協議会や市長会などの会議において意見を交わしたいと考えています。

○屋内運動場など教育環境の整備について

質 安心で安全な教育環境の整備は大変重要である。市内小学校の屋内施設を調査したところ多くの改修す

べき箇所が見られた。中でも同じ年代に建設された今福小、志佐小、星鹿小の屋内運動場改修についてどのような計画になっているか。

教育総務課長 令和5年度から計画的に青島小、上志佐小、調川小、今福小、志佐小の屋内運動場の照明のLED化を図っています。次に、志佐小学校の屋内運動場の改築工事、その後、今福小、星鹿小の長寿命化事業を予定しています。

市長 志佐小学校の屋内運動場については、令和7年度に基本設計および実施設計を経て、令和8年度には改築工事に着手できるよう取り組めます。

質 その計画について各校の校長には公表していないのはなぜか。

教育総務課長 計画における課題への対策、検討が十分でないため、公表には至っておりません。

質 公共施設等総合管理計画の中で「公共施設に関する問題意識の共有化を図るための市民への情報共有の在り方について検討する」とある。情報共有は必要ではないか。

市長 学校施設長寿命化計画については、5年ごとに見直す計画です。で、現状における全面的な公開は、学校をはじめ、地域住民の混乱を招く恐れがあることから、個別の事業ごとにスケジュールが確定した段階で早めの公表に努めていきたいと考えています。

一般質問



徳田 議員

○市活性化のための住宅地整備について

質 3月議会でも住宅地整備については質問したところですが、市所有遊休地の活用を検討したいとの回答後、どのように対応されましたか。

会計課長 住宅地として売却が可能となまとまった面積を持つ市有財産について整理しました。志佐町浦免の旧松浦児童遊園、福島町塩浜免の旧教職員住宅敷地（建物が建っている状況）、志佐町里免の旧松浦高校スポーツ合宿所敷地を、住宅地として活用が可能と判断しています。

質 水道料・子育て支援・住宅建設補助等、他市町より有利な条件のパンフレット等を作成し移住の促進を図れないでしょうか。

政策企画課長 ご提案のパンフレットについては、現在、松浦市移住ガイドブックとして移住相談会などで配布しています。このガイドブックには、本市の子育て支援制度、移住・定住支援制度、仕事の支援制度など、移住に必要と考えられる情報をコンパクトにまとめて掲載しており、毎年関係各課に確認し、最新情報に更新して作成しています。

○県道・市道の管理について

質 県道・市道で除草作業が行われていない場所があるがなぜですか。

建設課長 県道の除草は予算的な問題から年1回の実施であり、時期や区間などで地域の皆さまのニーズに合わないなどの実情があります。令和3年度に県から福島地区長会、福島地区長会に対し、除草の自治会委託を提案していることです。市道についても県と同様に、限られた予算の中で通行に支障がある区間を中心に除草を行っています。

質 福島町の玄関口、福島大橋佐賀県側の右側とロータリーの草刈りはできませんか。

建設課長 福島大橋から国道204号までの区間は佐賀県が管理する区間であり、適切な管理をお願いしている状況です。

質 長野県木曽郡木曽町、北海道松前郡福島町との首長・議長相互交流事業において、市長も同行された現地視察の折に通りにくかった場所の伐採ができませんか。

福島支所長 ご指摘の市道姫乗線のうち、市道福島中央線と接続する地点から大山公園の敷地につながる区間については、もともと道路が狭い上、民地から伸びる枝葉などで、普通車でも、離合しづらいなどの実情を把握しています。適切な管理に努めてまいります。

一般質問



宮本 議員

○鷹島海底遺跡の保存と活用について

質 去る11月14日から15日にかけて、自民党本部や政府要人への陳情を行いました。自民党の森山総務会長からは、議連の設置について、陳情の同行者である金子容三衆議院議員にご提案がありました。当市も全面的にお手伝いをする必要があると考えますが、市長の姿勢について伺います。（※議連とは 議員連盟の略であり議員がなんらかの目的をもって結成する会の総称）

市長 長崎県と松浦市が国に求めている要望事項の実現には、議連の設置というのは強力な後押しになると考えています。これも県知事を先頭に、市議会、民間団体の皆さまと活動してきた、そのご尽力の賜物であると思っています。議連の結成や活動に向けて必要な資料の提出やこれまでの取り組みの報告などを求められれば、積極的に協力します。

質 先日上京した際に、山本啓介参議院議員から、来年、東京の憲政記念館で元寇サミットを開催してはとの提案がありました。元寇サミット実行委員会（仮称）を設置して、

学識経験者や議会、松浦市歴史観光推進協議会等、官民一体となって実行してはいかかと考えますが、今後の計画についてお聞かせください。

市長 第1回の元寇サミットについては、長崎県内で元寇にゆかりのある対馬市、壱岐市、松浦市で開催し、元寇を生かした交流宣言を締結しました。この元寇サミットの第2回目の開催となりますと、両市のご理解ご協力が不可欠であり、ご意見等も伺わなければならないと思っています。

質 国立科学博物館がクラウドファンディングを利用し、運営費の支援として目標額の約9倍にあたる9億2千万円を集めたという新聞記事を読みました。元寇船引き揚げについても、世界中から資金が集まるかもしれないので、松浦市でこのクラウドファンディングと企業版ふるさと納税、ふるさと納税を絡ませて、基金をつくってはどうかと考えますが、ご検討されませんか。

市長 元寇船の引揚げを含む、水中遺跡の調査研究や保存管理、鷹島への水中考古学専門調査研究機関の設置については、現在も国に対して要望を重ねていますので、国のプロジェクトとして実施されるよう、引き続き要望していきたいと思っています。元寇引き揚げにかかる基金については、国の動きが見えた上で検討しなければならぬと思っています。

一般質問

和田
議員

○松浦市民運動公園の改修計画について

質 公共事業を実施する上では、階段を上がるように一つ一つ段階を経て完成に導く必要があります。大きく区分すると、基本構想、基本計画、実施計画、事業実施、完成となります。現時点において、松浦市民運動公園の改修はどの段階にあるのか、今後どのように取り組まれるのか、計画とスケジュールをお尋ねします。

市長 市民運動公園改修事業は、現在、令和4年度末に定めた基本構想の段階です。本事業の今後のスケジュールについては、他の大型事業を含めた全体計画の中で進めなければならないと考えています。来年度に着手予定の立地適正化計画の策定後に、財源の確保策として活用できる補助制度等を調査した上で、次の段階以降の計画に取り組んでいきたいと考えています。

○調川港新水産加工団地用地造成について

質 調川港新水産加工団地用地造成事業の目的、必要性は極めて明確で

す。しかし、早急な用地造成の完成を必要としながらも、いまだに事業が進展しないことについて、どのように考えているのか、また、今後どのように事業を進めようと考えているのか、お尋ねします。

市長 新水産加工団地用地造成事業については、事業目的、事業概要をお示ししてご理解を得られるよう、これまでも説明会、意見交換会など協議を重ねましたが、事業の進展がないことについて、極めて残念と考えています。しかしながら、海を埋め立てることから、そこで漁をされ生計を立てておられる漁業者の皆さまや周辺に住んでおられる地域住民の方々のご理解をいただけるよう、丁寧に説明や意見交換をしていくことが重要だと考えています。

まずは、事業計画案の是非の判断に参考となるような資料を皆さまにお示しするための事前調査の実施について、ご理解をいただけるよう協議を進めます。また、埋立てには相当な期間を要することから、用地の確保については、議員からも以前ご提案がありましたとおり、周辺用地の用途変更も含めて検討したいと考えています。

※この他にも「行政サービスの体制整備について」と「小学校区単位のみちづくり運営協議会の設立について」を質問しました。

一般質問

和田
議員

○子牛価格低迷対策について

質 原油価格および物価高騰が続いている中、畜産業に必要な資材も高騰しており、子牛価格低迷により経営に影響を受けた市内畜産農業者に対し、安定的な経営維持を図るため、定额の支援措置を願います。松浦地区の和牛繁殖部会員が飼養する母牛全頭に対する補助金が必要です。1頭当たり1万8千円を要望します。佐世保市、佐々町、小値賀町と同等の支援を望みますが、お考えを伺います。

農林課長 国の臨時交付金を活用し、牛の餌の高騰対策として、粗飼料購入費用の価格上昇分の7割、キャトルセンターの預託費用の価格上昇分の7割を支援することとしています。が、この予算の範囲内で、支援の対象者を拡充しまして、支援額を母牛1頭当たりの定额補助に変更する予定です。金額については現予算の範囲内と考えていますので、母牛が約2200頭、これを全頭に支援できるように割り戻しますと、1頭当たり1万4000円になる予定です。

○浄化槽設置補助について

質 浄化槽設置補助について、松浦市においては、金額はいくらで、その金額が決まってるからの見直しはいつあったのか伺います。合併浄化槽の工事代金、資材費も上がっているため、補助金額の増額についても伺います。

市民生活課長 公共下水道処理区域外および福島・鷹島の各漁業集落排水施設区域外で設置される合併処理浄化槽の設置工事に対して補助金を交付するものとしており、補助の額については、工事費の額にかかわらず、環境省が定める基準額に基づいて、5人槽で33万2000円、6・7人槽で41万4000円、8人槽以上で54万8000円を交付しています。

また、令和2年度からは、し尿のみを処理する単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するために、その転換に係る宅内配管の工事費も補助対象として追加しており、上限30万円を交付することとしています。**市長** 公共下水道事業と合併処理浄化槽の補助制度の、どちらの事業を実施するにしても、ある一定の財政負担を市として行っており、浄化槽の設置に係る国の補助額以上の独自の上乗せ補助は、全て市の負担となるため、慎重に考えなければならぬと考えています。

一般質問

吉岡
議員

○市内小中学校においての不登校と
いじめの現状と対策について

質 現在本市においてのスクールカウンセラーの人数と配置についてお答えください。

学校教育課長 市内各中学校区を一つのエリア校として、小学校を含めて全校配置という体制を取っており、スクールカウンセラー5名、スクールソーシャルワーカーを2名（うち1名は心理士の有資格者）配置しています。

質 本市においてもいじめ、不登校問題などさまざまな課題もあり、また最近ではSNSの問題などがあるが今後の対応についての教育長のお考えをお聞かせください。

教育長 SNSによるいじめも含めて、いじめの根絶には至っていないと認識しています。いじめ問題は、いつでもどこでも起こり得る可能性があること、また、時には命に関わるような深刻な問題に発展する場合があることを念頭に置き、いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止と早期発見、早期解決に努めるよう、各学校に指導しているところです。

質 教育のまちとうたっているのに、予算に余裕がなく教育支援員の補充が十分でないと思われれます。予算面になるので市長のお考えをお聞かせください。

市長 給食懇談会などにおいて、直接学校現場の状況を見たり、直接学校の先生からお話を伺ったりしながら、現場の状況把握に努め、今後の市政運営や予算措置に生かしていきたいと考えています。

○部活動地域移行の現状と今後について

質 現在の進捗状況と今後についてお聞きます。

学校教育課長 市校長会、市教頭会に対し、拠点校方式による合同部活動という案を提案しているところです。今後、3学期中に第2回部活動地域移行在り方検討会を開催し、8・9月に実施した部活動アンケート内容の結果の説明と、合同部活動の拠点校方式に対する意見の集約を考えているところです。

質 指導者問題は重要であると思うが、今後どのように進めていくお考えなのかお聞かせください。

学校教育課長 市の委員として指導者を募集し、ジュニアスポーツ推進委員といった登録制度を考えています。任命後は、研修を実施し、指導者の資質向上を行いたいと考えています。

一般質問

水
議員

○予防接種の取り組みと今後の対応について

質 予防接種を望まれている方が確実な信頼の下、安心して予防接種が行われるよう、行政、医療機関等と情報を密に取り組んでいただきたいと思っていますが今後の取り組みについて伺います。

子育て・こども課長 妊娠中に風疹を罹患した場合、風疹症候群が起こることがあるため、妊娠した際に産婦人科では風疹の抗体検査を行い、抗体が低い場合は産後の風疹ワクチン接種を推奨しています。安心して妊娠・出産できるよう、風疹ワクチンの助成について検討します。併せて、長崎県の取り組みとして実施できるよう県へも要望します。

○小中学校教育費に係る保護者の負担軽減策について

質 賄い材料費の価格高騰分として令和4年度は527万5千円の補助を行っていたみたいです。昨今の物価高騰分を子ども1人当たりの給食費に換算した場合、1人当たりの負担額はどのように変化するのか、1食分と月額をお伺いします。

教育総務課長 学校給食費に係る物価高騰分の負担額について、4月の実績から算定した数値でいいますと、1人当たり1食17円から25円の負担増が見込まれ、小中学校ともに1人当たり月額で470円以上の負担増となる見込みです。

質 コロナウイルス対策支援事業として、国の地方創生臨時交付金を活用し、賄い材料費高騰分の補助を行っていたみたいです。仮にこの交付金がなくなった後の対策についてどのようにお考えか伺います。

市長 学校給食費の賄い材料費については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、保護者の負担軽減に取り組んでおり、価格高騰分を支援することで給食費の値上げを据え置いています。さらなる食材の価格高騰の影響を受け、メニューなどを工夫して給食の質や量を確保することにも既に限界が来ており、現在の給食費のままで、栄養バランスや量を保った学校給食の提供は大変困難な状況となっています。子どもたちが楽しみにしているデザートなどにも影響しているということも聞いています。

令和6年度においては、交付金が活用できない場合、物価高騰分を市の一般財源で支援したいと考えています。

一般質問



大橋 議員

○通学支援事業の市民要望に対する市の対応について

質 「『住み続けたい!』を実感できるまち松浦」に向けた「ともだビジョン2022」、5款「安心・幸せのまち」4項「障がいのある人の社会参加と福祉の充実を進めます」の中にどのようなうたっているか、当該箇所のみ簡潔にお答えください。

市長 障がいのある人が住み慣れた地域で自立して暮らせるよう、訪問系サービスの充実、地域生活への移行の推進、相談支援体制の充実、就労支援、通学支援、成年後見人制度の利用支援など、各種福祉サービスのを通じて、障がいのある人の社会参加と福祉の充実を図ることとしています。

質 高等部へ上がると通学支援のバスの利用ができないと判断された理由を「ともだビジョン」に照らしてお答えください。

市長 市町村は小中学校の設置義務が課され、義務教育の直接の実施主体として責任を負っており、市で支援することが必要であるという考えから特別支援学校の小学部、中学部

への通学支援を行っています。

高等部については社会的自立を目指す中で自力での通学をしてほしいという県の考え方があり、自力で通学できない生徒については、県において宿舍つきの学校があることなどを総合的に判断し、高等部への通学支援は行っておりません。

質 市長のビジョンを達成するため逆算したバックキャストの思考で、この問題をどう考えられるか、お答えください。

市長 令和2年12月時点では、マンツーマンでのヘルパーの確保が難しかったためまずは小中学生への支援を優先し、高等部の支援については今後検討するとしていましたが、その後市内にもヘルパー事業所が開設され、当時と比べるとヘルパーも確保しやすくなっています。今回、改めて大橋議員から市民の方のご意見を踏まえた一般質問をいただき、議論を深めてきました。このような環境の変化やご指摘等を踏まえ、今回のケースに限らず、継続的な支援を行うための、ヘルパーの在り方や通学バスの運行経路の再検討など、現行制度を見直し、できることがないか、担当課に改めて検討を指示します。国、県への財政負担についても要望していきます。

この検討とは、中身を見直すことで実施をするということで、中身の見直しをしたいと考えています。

一般質問



神田 議員

○子牛価格下落に対する繁殖牛農家への支援策について

質 移植師の免許が取得できる機関を、田平町にある肉用牛改良センターに設置するよう、県に要望していただきたいが、この件について伺います。

農林課長 県北家畜保健衛生所に確認したところ、県北地域の関係者からも田平の肉用牛改良センターでも実施してほしいとの要望があっていますが、講習で使用する器具などの設備や先生の確保が困難などの理由によって、実施できていないとのことでした。

市長 まずは生産者のニーズや課題について管内市町と情報交換を行い、取り組んでいきたいと思っています。

質 松浦市内産の肥育牛を増産することにより、ふるさと納税などにつなげていきたい。若い方が意欲を持ってやろうとしている。行政としてやる気のある方をどのように捉えるのかお尋ねします。

農林課長 県が肉用牛経営緊急支援事業として、新たに肥育に取り組む繁殖農家に対し、1頭当たり10万円の支援を予定しています。詳細が示

されましたら農家の方に周知を図ります。また、加工施設等の施設整備が必要であれば、国や県の補助事業の活用等ご相談いただければと思います。

質 繁殖牛の経営で松浦を盛り上げたいという若者がたくさんいます。彼らの熱い思いを無駄にしないためにも、積極的な施策を講じていただきたいが見解をお伺いします。

市長 若い方々の意見を聞きながら、若い方が農業を続けたいと思えるように、どのような対策ができるか検討して実行してまいります。

○公共施設の洋式トイレの普及と今後の計画について

質 洋式トイレの普及が進んでいる状況の中、市長として公共施設の洋式トイレの設置について、どのように考えられているのかお伺いします。

市長 生活様式の変化により、洋式トイレは既に各家庭にも広く普及しており、市内公共施設を利用する高齢者を中心に、トイレの洋式化を望む声も多くあること、また、小中学生においては、学校での和式トイレの使い方が分からないといった話をよく耳にしております。そういった状況の中、学校や公民館、庁舎等の公共施設への洋式トイレの設置は、積極的に進めていかなければならないと思っております。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】令和5年度松浦市一般会計
補正予算（第8号）（関係分）について

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億4394万8千円を追加し、歳入歳出予算総額を歳入歳出それぞれ193億9930万7千円とすることを審議し、可決しました。この歳入は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金2億4394万8千円であり、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（追加支給分）2億3800万円の関連予算であり、妥当と認め原案のとおり可決しました。

【議案】令和5年度松浦市一般会計
補正予算（第9号）（関係分）について

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億6705万千円を追加し、歳入歳出予算総額を歳入歳出それぞれ201億6635万8千円とすることを審議し、可決しました。歳入についての主な内容は、災害復旧費国庫負担金1億5700万4千円、災害復

旧債2億6800万円であり、妥当と認め原案のとおり可決しました。

【議案】令和5年度松浦市一般会計
補正予算（第10号）（関係分）について

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億5928万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を歳入歳出それぞれ204億2564万7千円とすることを審議し、可決しました。歳入についての主な内容は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金5400万円、プレミアム付き商品券売上金1億5000万円であり、妥当と認め原案のとおり可決しました。

文教厚生委員会

【議案】令和5年度松浦市一般会計
補正予算（第9号）（関係分）について

○来年度小学校の教科書改訂の時期に当たり、教師用教科書・指導書を購入する費用として1525万6千円が計上され、妥当と認めました。
○御厨公民館の講堂エアコンおよび上志佐公民館の玄関ドアの修繕費として50万8千円が計上され、妥当と認めました。

産業経済委員会

○福島調理場の食器・食缶洗浄機が破損し、購入費として502万3千円が計上され、妥当と認めました。

【議案】令和5年度松浦市一般会計
補正予算（第10号）（関係分）について

○プレミアム付き商品券事業として2億4000万円が計上されました。
エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の消費や暮らしを支え、地域経済の活性化を図るため、地域内の消費需要喚起を目的としたプレミアム付き商品券を発行するための予算計上であり妥当と認めました。

○飼料価格高騰対策事業費補助金として3106万6千円が計上されました。物価高騰による飼料価格の高騰に伴う経営への影響を緩和するため、価格上昇相当分に係る経費の一部を支援するものであり、妥当と認めました。

※補助概要

1頭あたり 2万円の10分の7
対象牛 12カ月齢以上

行政調査

【総務委員会】

総務委員会において松浦市の課題である県立松浦高校の魅力化支援のため、東京都文京区の文京区青少年プラザ「Labo（ビーラボ）」と、企業版ふるさと納税の活用に向けて岐阜県飛騨市の道の駅「一宙（スカイ）ドーム・神岡」ひだ宇宙科学館「カミオカラボ」の視察を行い、両市の取り組みについて研修してまいりましたのでその概要を報告します。

【東京都文京区】

文京区青少年プラザ「Labo（ビーラボ）」は、主として中学生と高校生を対象に自主的な活動の場および交流の場を提供することにより、青少年の自立性および社会性を育むための施設です。

家でもない学校でもないサードプレイスとしてコンセプトどおり「中高生の秘密基地」となっている様子が伺えました。自分はこの間においても感じてもらえるような運営が指定管理者である認定特定非営利活動法人カタリバによって行われていました。交通費のみの学生による無償ボランティアによって10代と関わる「ユースワーカー」として親や先生でもなく、また友だちでもない斜めの関係を構築して中高生たちの居場所を作っていました。



【b-lab（ビーラボ）での研修の様子】

【岐阜県飛騨市】
飛騨市神岡町には「ニュートリノ」の研究でノーベル物理学賞をもたらした「スーパーカミオカンデ」をはじめ、宇宙と素粒子の謎を研究するための研究拠点が集まっています。

「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」は、こうした研究の魅力を広く伝え、科学と社会の新しい関係をつくるための全ての人に開かれた場所となっており、普段感じることのできない素粒子の不思議な性質を迫力のある映像やゲームで体感し、思いを馳せることで日々の生活と宇宙スケールの壮大な物語との間のつながりを感じることができるとなっています。

地元自治体と研究機関、双方の利害が完全に一致し、お互いに協力し合い作り上げた展示施設として「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」は整備されました。展示施設の整備費は約3億円であり企業版ふるさと納税や合併特例債、ふるさと納税を財源と

しています。企業版ふるさと納税については、寄附企業17社、寄附額は1億4860万円に及んでいました。



【カミオカラボの玄関にて】

【産業経済委員会】

令和5年10月30日福岡県朝倉市、飯塚市へ、ふるさと納税について行政調査を行いました。

【福岡県朝倉市】

市の魅力向上を意識したシティープロモーションの視点から業務の企画立案および総合調整を所管し、効果的な情報発信を行うため、シティープロモーション課を新設されました。

平成27年度に約2億円であった寄附額は、令和4年度には29億3千万円に増加しており、今後の取り組みとして新商品開発のための補助制度創設、企業誘致、リピーターの囲い込み体験型・滞在型の商品開発、ポイント、カタログの利用等について検討しているとのことでした。



【朝倉市議会議場にて】

【福岡県飯塚市】

平成30年度に約26億8千万円であった寄附額は、令和4年度には90億8千万円となり、全国8位の実績を誇っています。大人気の「鉄板焼きデミソースハンバーグ」は、ふるさと納税でしか手に入らない商品となっており、この取り組みが商品の返礼品増加につながっていました。

寄付額アップ対策として、経済部特産品振興・ふるさと応援課として合計6名の人員を配置し、経済部として農林振興課、商工観光課とも連携を密に取り組みしていました。



【飯塚市での研修の様子】

【所感】

今回視察を行った2市においては、寄附額の増加、業務委託について、新たな返礼品や既存商品の見直し等、そして寄附金の活用方針までの一連の流れに見直しや方向転換をしています。松浦市においてもまだまだ寄附額増の余地があると思われるため、松浦の極み12品目をはじめ特化した本市ならではの新商品の開発や、広告、PR等にご尽力いただければと思います。

ふるさと納税で得た関係を寄付手続きの一過性で終わらせるのではなく継続的な関係を築いていくことも必要です。寄付をきっかけに興味、関心・交流（観光・イベント）・愛着（松浦市のファン）・関係人口へと発展するような事業を展開できれば、持続可能な地域づくりに寄与すると考えます。

その他各委員会の活動

【文教厚生委員会継続調査報告】

本委員会においては上志佐小学校の在り方について、存続させるとの基本理念を掲げていることから10月に上志佐小学校を訪問し、現況と課題等について校長、教頭より説明を受け質疑を行いました。学校からは、

特認校に対するアンケートを保護者の皆様へ行っている最中である、地域・保護者の方々との協議が必要である等の答弁がありました。

これらを踏まえ、上志佐小学校存続に向けた提言書を作成し、12月4日、市長に手交しました。この提言により、本委員会での上志佐小学校のあり方についての調査を終了しますが、今後も引き続き注視していきます。

提言内容から抜粋して掲載します。

1. 特認校制度の内容を広く市民に知らせること
2. 導入にあたり、職員配置等、財政面でも支援を行うこと
3. 地域との協議等に積極的に参画すること

【西九州自動車道整備促進特別委員会中間報告】

伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、10月20日に同協議会一同で国土交通省九州地方整備局長に対し、また、11月29・30日に本特別委員会を代表し正副委員長、議長および同協議会で国土交通省、財務省および長崎・佐賀両県選出国会議員に対し、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成および道路

整備予算の安定的な財源確保を要望いたしました。

要望に対し、さらなる事業の推進には地方自治体の協力が不可欠であるため、今後ともより一層のご支援をお願いしたいとの回答をいただきました。

決算審査

【決算審査特別委員会審査報告】

○認定第4号令和4年度松浦市一般会計の決算認定の不認定について

松浦市貯蓄共済協同組合元利返済金197万2千円が収入未済として計上されており、決算審査特別委員会最終日の総括質疑の答弁では、この収入未済額についての具体的な返済期日、延滞金の有無等についての説明はなく、一般消費者が利用する金融商品とは違うという事情を考慮しても、貸し付けを続行できるだけの信用はないに等しい状況にあると思われませんが、このままでは貸付残高2千万円以上が回収不能になるかもしれないという緊張感が足りないように見受けられます。また、同組合における出資金の取り扱いの不透明さも含め、貸し付け時における精査が不十分であったと断じなければなりません。よって、この貸付金回収に対する緩慢な対応が収入未済を招いたと結論付け、認定第4号令

4年度松浦市一般会計決算の認定を不認定としました。

なお、原資が貴重な市民の税金である以上、回収に向けた具体的な取り組み（返済期日、担保物件等）を早急に講じることを市に対して申し添えました。

また、審査意見として、成果報告書のあり方の精査と、目間流用の慎重な執行について要望しました。

10月臨時会

10月23日に臨時会を開催し、議案3件を審議しました。

審議結果は次のとおりです。

●専決処分の承認について令和5年度松浦市一般会計補正予算(第6号)

・・・可決

●令和5年度松浦市一般会計補正予算(第7号)

・・・可決

●令和5年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算(第3号)

・・・可決

12月定例会

12月定例会で上程された左記の議案については、松浦市立青島診療所に対する健康保険法に基づく保険医

療機関の指定取り消し処分に伴い、開設者である市長の給与を10%（3カ月）減額するものであり、内容が不十分として賛成少数で否決しました。

●松浦市市長の給与の特例に関する条例の制定について

・・・否決

12月臨時会

12月定例会で上程され、審議の結果否決となった議案について、12月28日に臨時会を開催し、開設者である市長の給与を50%（3カ月）減額するものとして改めて上程され、審議しました。

審議結果は次のとおりです。

●松浦市市長の給与の特例に関する条例の制定について

・・・可決



11月

2日◇決算審査特別委員会
6日～8日

◇総務委員会行政調査（東京
都文京区・岐阜県飛騨市）

9日～10日

◇長崎県沖縄戦没者追悼式

（糸満市）

13日◇決算審査特別委員会

総括質疑

13日～14日

◇西九州自動車道建設促進大
会（東京都）

20日◇文教厚生委員会

20日～22日

◇長崎県離島振興市町村議会
議長会先進地視察

（新潟県佐渡市）

24日◇全員協議会

◇各派代表者会

28日～29日

◇離島振興市町村議会議長会
全国大会及び要望活動

29日～30日

◇伊万里・平戸・松浦・佐世
保市議会・佐々町議会西九

12月

1日◇議会運営委員会

4日◇文教厚生委員会手交

13日◇市議会だより編集委員会

20日◇全員協議会

◇議会運営委員会

◇鷹島海底遺跡保存活用特別
委員会

26日◇北松北部環境組合臨時議会

（平戸市）

28日◇議会運営委員会

◇臨時会

1月

9日～11日

◇長崎県市議会議長会行政視
察（北海道旭川市・深川市）

14日

◇西九州自動車道建設促進大
会（松浦市）

17日◇市議会だより編集委員会

◇全員協議会

27日◇東彼杵道路建設促進大会

（川棚町）

州自動車道建設促進協議会
要望活動
◇長崎県離島振興市町村議会
県選出国会議員への陳情
（東京都）

議案等の審議結果

条 例	○松浦市国民健康保険税条例の一部改正について	可決（全員）
	□国民健康保険直営松浦市立診療所設置条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市印鑑条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市火災予防条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
	◇松浦市建築関係手数料条例の一部改正について	可決（全員）
	◇松浦市水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について	可決（全員）
	○松浦市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	可決（多数）
	○松浦市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	可決（多数）
	○松浦市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	※松浦市市長の給与の特例に関する条例の制定について	否決

議案等の審議結果(つづき)

予 算	◎令和5年度松浦市一般会計補正予算（第8号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	◎令和5年度松浦市一般会計補正予算（第9号）	可決（全員）
	◎令和5年度松浦市一般会計補正予算（第10号）	可決（多数）
	□令和5年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第5号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	※令和5年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員）
その他	◇市道田代木場線道路災害復旧工事請負契約の締結について	可決（全員）
	○佐世保市及び松浦市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結に関する協議について	可決（全員）

議案等の審議結果(つづき)

認 定	▼令和4年度松浦市一般会計の決算認定について	不認定
	▼令和4年度松浦市青島診療所事業特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市鉾害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市国民健康保険特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市後期高齢者医療特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市介護保険特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市福島診療所事業特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市鷹島診療所事業特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市下水道事業特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市松浦魚市場特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市臨海土地造成事業特別会計の決算認定について	認定(全員)
	▼令和4年度松浦市工業団地造成事業特別会計の決算認定について	認定(全員)
同 意	※松浦市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
	※松浦市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
	※松浦市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
	※松浦市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
	※松浦市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
	※松浦市公平委員会委員の選任について	同意(全員)
	※松浦市教育委員会委員の任命について	同意(全員)

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎・・・各常任委員会へ分割付託

※・・・委員会付託を省略し全員審査

○・・・総務委員会

□・・・文教厚生委員会

◇・・・産業経済委員会

▼・・・決算審査特別委員会

市議会だより編集委員会
委員長 徳田 詳吾
副委員長 吉岡 健次
委員 志水 尚周
委員 大橋 周清
委員 武部 周清

新年おめでとうございます。
昨年は各地区で行事やイベントが盛大に開催されました。これまでコロナウイルスの影響で縮小や中止を余儀なくされたイベント等も、数年ぶりに再開するという事で、実行委員、また関係者の皆さまにおかれましては大変なご苦労があったものと思われまふ。そのような困難を乗り越え開催にご尽力いただいた皆さまに敬意を表すると共に、今年度も全てのイベントが開催され、市民の皆さまの交流の場、そして地域の活性化や、観光など経済あるいは産業の発展等に繋がっていくことを願っております。

市議会議員となり早くも2年が経過したわけですが、残る任期においても、しっかりと市民の皆さまのお声を行政へ届け、市民の皆さまが安心して暮らせるまち、そして、未来の松浦市を担う子どもたちのためにも全力で取り組んでまいります。

⑤

後 編
記 集

